

# 2年1組

## 「大もいサラダ！」

～おいしい野菜をそだてよう～



### <調べよう！>

初めて学年が上がり、生活科の時間で、1年生のときの花の栽培活動の経験を振り返ると、子どもたちから自然と「野菜作りにも挑戦したい。」との声があがりました。どうやったら美味しい野菜が育つのか、必要な物はないか、図書室の本や iPad を活用して調べました。

### <育てよう！>

始めに、プランターの設置や土作りの計画を立てました。図書室の本で調べることはもちろん、iPad 使って調べたり、学校にいる先生や上級生に聞いたりもしました。

「土作りで大事なことはよく混ぜることだよ。」という友達の声をもとに、一人ひとりが畑の土と腐葉土・肥料を混ぜ合わせました。



大切に植えた野菜の種や苗は、ゆっくりと大きくなっていきます。子ども達は、一生懸命お世話を続けました。



### <聞いてみよう！>

子ども達は、「野菜を大きく育てたい。」「美味しい野菜を食べたい。」という思いをもちました。そこで、横浜市内で農家を営むTさんに、野菜を上手に育てるためのコツをインタビューすることにしました。

子ども達は、事前に考えていた疑問・質問をTさんにたくさん投げかけました。水やりの量とタイミング、虫対策、間引きの仕方、収穫時期の見極めなど、様々なことを学ぶことができました。



## <収穫しよう！>

夏になると、子ども達の努力が実りました。トマトやナス、キュウリやオクラなど、たくさんの野菜を収穫することができました。朝の会の「お知らせコーナー」では、毎日子ども達の収穫報告が続きました。



## <食べよう！>

「お母さんと食べたい。」「お父さんにプレゼントする。」と話し、お家に持って帰って食べたり、収穫した野菜を学校調理員さんに渡して、給食に出してもらったりしました。子ども達は、自分達で育てた野菜を食べる喜びを感じているようでした。



## <伝えよう！>

夏野菜の体験を経て、子ども達は冬野菜の栽培を始めました。冬野菜の活動では、栽培するだけでなく、収穫した野菜の栄養や、野菜の美味しい食べ方に注目して活動をすすめました。

栄養教諭の先生とは、赤・黄・緑の食べ物と、その食べ物がもつ栄養について学ぶことができました。キューピー（株）の出前授業では、野菜のもつ栄養と、おすすめの食べ合わせについて知ることができました。

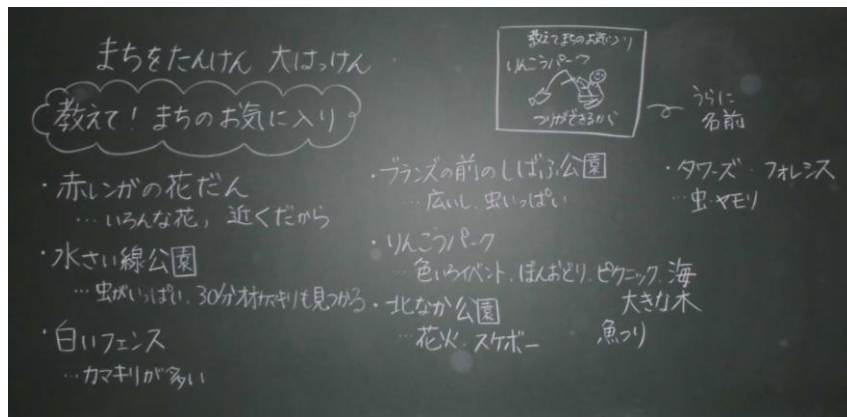
活動を通して、見て、知って、食べて、学んで、感じたことを、「みな」と「みらい」を語る会の場で、保護者の方や校内の多くの友達に伝えることができました。





## 2年2組

### まちをたんけん大はっけん！～公園からみなとみらいがわかったよ！～

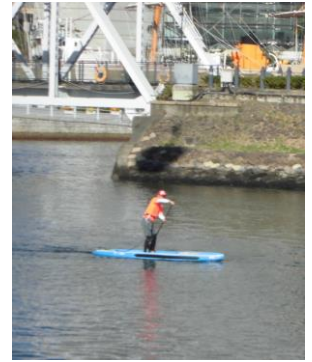


まちのお気に入りをクラスで出し合ったら、子どもが気軽に行ける場所ということで、公園がたくさん上がりました。「まず公園へ行こう」という話し合いになりました。



臨港パークに出かけました。「近くにあるけど、あまり行ったことはなかった」「海の生き物と触れ合える場所だとは知らなかった」という意見が聞かれました。たくさん歩いて、遊んで、発見したものを確かめました。「いつも遊んでる高島中央公園より、ずっと広い」「土日には人がたくさん来てる」「フリスビーをしたりスポーツをしたりする人もいる」「遠くからきている人もいる」「海がすぐそばにあるから危ない」「だから警備員さんがいるんだ」「お客さんが多いから、売店やオブジェがある」「みなとみらいの船や建物が見えて景色がいいから、観光客が来る」「シーバスにも乗れる」「ホテルも近くにたくさんある」「コンサートやイベントもやってる」「観光客に見せるためにでっかいいいかりがあるんだ」どうしてこの公園があるのかが、少し分かってきました。





「北仲にも公園があるよ」と北仲のマンションに住む子たちが言うと、「行ってみたい」という意見が多数聞かれ、次は北仲方面に出かけることにしました。高島に住む子たちのほとんどは、こっちに来たことがなかったそうです。大きなランドマークタワー、高級そうなお店の入っているきれいなマンション、ロープウェイ、結婚式場、でもお目当ての公園は、大勢の子どもたちが鬼ごっこをするような公園ではありませんでした。「ここは大人の方が散歩する公園だね」「子どもが走ると迷惑がられるね」また一つ、この街の特徴が分かりました。

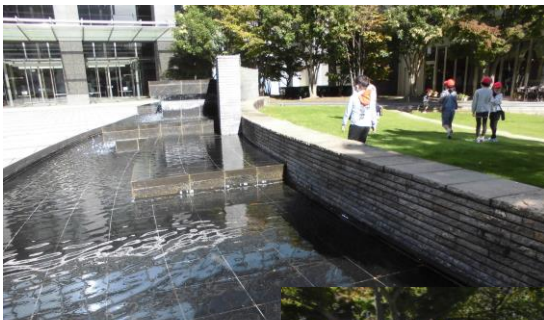


次は、北仲に行く途中にあった日本丸メモリアルパークに行きました。水陸両用バスが、陸から海にぱっしょーんと入るところが見えました。手を振ると、乗っていたお客さんたちも手を振ってくれました。「先生、ここにもいかりがあるよ」草原の坂道はみんなが鬼ごっこをしたり、ごろごろ転がったりするのにぴったり。船の絵を描いている子もいました。「みなとみらいは海の街なんだ」ということがはっきりしました。





「今度はラッパ公園に行きたい」「どこ？それ」知らない子がたくさんいたので、みんなで行ってみたいことにしました。そこは地下鉄の出口のそばにある、小さな公園でした。朝なので、お仕事に行く人たちがたくさん通りかかりました。「この赤いのがラッパなんだね」わーと大きな声を出して遊んでみましたが、どうもおもちゃに使う物じゃないようです。「木に登っていいの？」「だめじゃない？」「前にお父さんと来たときは登ったよ」「でも今はお父さんいないから、やっぱりだめじゃない？」いろいろな公園を探検してきたことで、自分たちでマナーや使い方を考えられるようになってきました。



2年2組 まちを たんけん 犬は見え	りんごチーム	ラッパ チーム	日本鬼チーム	きたなかチーム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>しゃべりやすい</li> <li>声だいをむずかしく</li> <li>しゃべりをつかう</li> <li>いいひん ガンガン</li> <li>場いよ しゃべり</li> <li>自分さめられるよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場いよを広くする</li> <li>声だいをむずかしく</li> <li>地図やしゃべり</li> <li>どこにしゃべりかけるように</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたのびのせり</li> <li>声だいをむずかしく</li> <li>8分を短かくして</li> <li>おつけ、のかん</li> <li>いんを出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しゃべり時間をみじかく</li> <li>クイズをひやく</li> <li>むずかしくする</li> <li>先にしゃべった人に</li> <li>ごえんをわらわらない</li> <li>うしろにしたい</li> <li>ルール むずかしく</li> <li>たん</li> </ul>

最後に、グランモールの中にあるお店の公園に行きました。「水遊びは楽しいな、川にキャンプに行きたいな」と言っていた子もいました。私たちは都会の公園の特徴について、4つのチームに分かれて、分かったことをまちの人や学校の人たちに伝えることにしました。学習の終わりには、「やっぱり僕たちが思い切り遊べる、高島中央公園が一番好き」とふり返る声がたくさん聞かれました。





## 2年3組

# ガラクタおもちゃミュージアム

**生**活科の学習で、家で捨てられようとしていた廃材を持ち寄り、「ガラクタ遊び」をしました。



ペット  
ボトル



おかし  
の  
空箱



飲み物の  
ケース



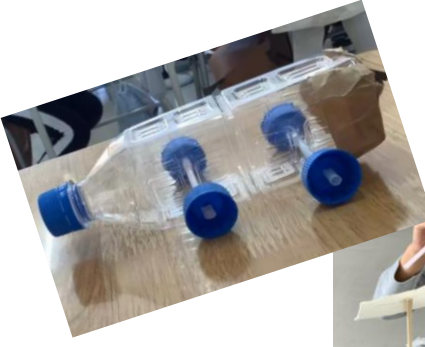
空箱



ラップ  
などの  
芯



キャップ



**各**家庭から廃材を集め、ガラクタBOXを作りました。色んな廃材を使う中で、お気に入りを見つけ、おもちゃ作りを始めました。どんどん廃材がなくなる中で、新しく材料を購入するのではなく、あるものさらに工夫して作れることに気付きました。



## 2年3組 ガラクタおもちゃミュージアム

「みな」と「みらい」を語る

会では、動くおもちゃをテーマに、自分が作ったおもちゃをお客さんにipadを活用しプレゼンテーションしました。お客さんに遊んでもらうことを通して、改善点を見つけたり、自分のおもちゃの良さを見つけました。



残った  
廃材で、  
6年生と  
遊びました

おもちゃ作りを楽しんだ後、残った廃材をどうするとよいか考えました。廃材は分別して捨てることや、リサイクルすることが必要であると気付きました。まだ使えそうな廃材は最後まで使うことで、大事に使いました。

活動を通して、自分たちの廃材を活用したおもちゃづくりは、資源を大切にすること＝SDGsに関係していること、その中でも「つくる責任つかう責任」に関係すると考えるようになりました。3年生でも、SDGsについて更に自分たちの考えが深められることが期待されます。